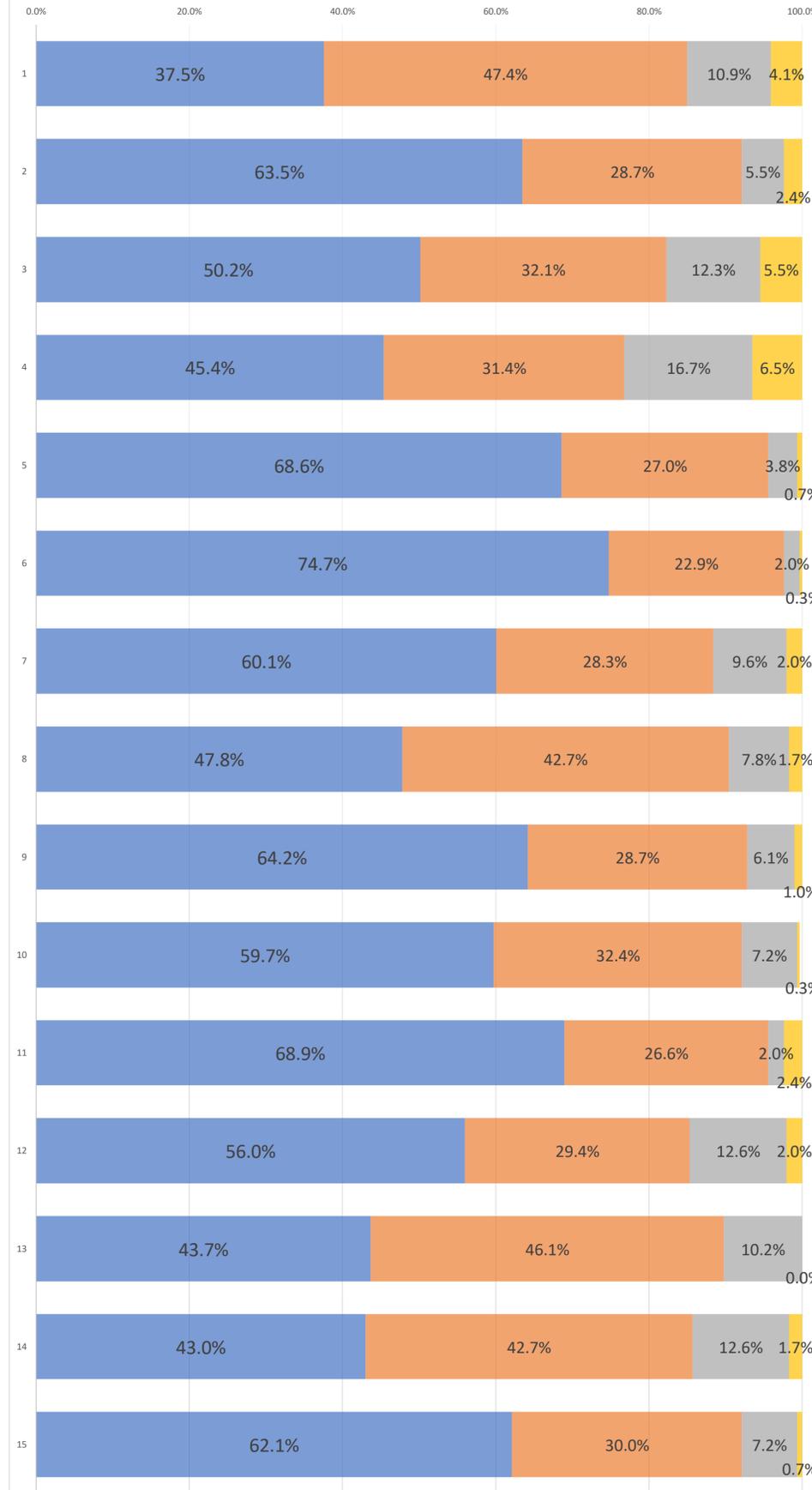


令和4年度 「よりよい学校づくりアンケート」 学校評価アンケート（児童）

		回答者 293			
		そう思う	大体 そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1	「やさしく かしく たくましく」の合言葉を意識して生活していますか。	37.5%	47.4%	10.9%	4.1%
2	友達に意地悪や嫌なことを言ったり、やったりせずに仲良くしていますか。	63.5%	28.7%	5.5%	2.4%
3	給食や朝ごはんなどは、好き嫌いなく食べていますか。	50.2%	32.1%	12.3%	5.5%
4	すすんで読書活動に取り組んでいますか。	45.4%	31.4%	16.7%	6.5%
5	先生は、丁寧に相談にのったり、教えたりしていますか。	68.6%	27.0%	3.8%	0.7%
6	先生は、熱心に授業に取り組んでいますか。	74.7%	22.9%	2.0%	0.3%
7	学校に楽しく通っていますか。	60.1%	28.3%	9.6%	2.0%
8	学校での勉強はよくわかりますか。	47.8%	42.7%	7.8%	1.7%
9	学校行事や学習活動に進んで参加していますか。	64.2%	28.7%	6.1%	1.0%
10	困っているひとに声をかけたり、助けたり、人が嫌な気持ちにならないように生活していますか。	59.7%	32.4%	7.2%	0.3%
11	地域の人に迷惑をかけず、公共の場でマナーを守って生活していますか。	68.9%	26.6%	2.0%	2.4%
12	自分からすすんで挨拶をしていますか。	56.0%	29.4%	12.6%	2.0%
13	時間を守って生活していますか。	43.7%	46.1%	10.2%	0.0%
14	正しい言葉遣いで生活していますか。	43.0%	42.7%	12.6%	1.7%
15	宿題や家庭学習にすすんで取り組んでいますか。	62.1%	30.0%	7.2%	0.7%



<アンケートの結果から>

1では、「そう思う」の割合が昨年より増えた。
 2・3では、肯定的な回答の児童がほとんどだが、「あまりそう思わない」と答えた児童の割合が増えた。
 4の読書活動では、「そう思う」の児童の割合が約13%伸びた。
 5・6・7・8・9に関しては、ほぼ例年通り。
 10・11については、全体的に肯定的だが、「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えた児童が増えた。
 13の時間を守って生活しているかの質問では、「思わない」と答えた児童が0%だった。
 15の宿題や家庭学習に進んで取り組む児童が全体的に増えた。

<成果と課題>

全体的に、多くの質問で「そう思う」と答えた人数が昨年度より増えている。学校としての取り組みや指導内容を理解し、感じ取っているからこそ「そう思う」という回答の増加につながっているとされる。
 今回より、用紙記入方式ではなく、校内でタブレットに入力する方法で実施した。保護者にも言えることだが、入力になることで、消極的な回答の割合が多くなったように思う。
 4の読書活動については、国語の研究による読書の推進と定期的な移動図書館の利用で読書の関心が高まっている結果だと考える。保護者の中には、図書室の利用が十分にできていないという意見があったので、さらに読書への関心が高まるよう努力していく必要がある。
 5・6の教員の児童の対応については、肯定的な回答が多数をしめることから、児童からの信頼は得られているように思う。
 7・8のように学校が楽しいか勉強が分かるかに関しては、約90%の児童が肯定的ではあるが、残り10%（約30人）は、否定的、消極的な意見を持っていることに留意して、指導にあたる必要がある。
 10の人がいやな気持ちにならないように生活しているかの質問では、「あまりそう思わない」昨年3.3%から7.2%に上がった。人数言えば、10名程度ではあるが、思いやりのある行動が自覚できるような環境や習慣、指導をしていく。
 11の公共マナーについては、「そう思わない」と答えた児童が0.3%から2.4%に増えた。公園での過ごし方や道路の歩き方、自転車の乗り方に関して、地域よりご意見をいただくことが多かった。交通安全教室などを実施し、児童への啓発活動を進めたい。
 14・15については、職員や保護者と児童の意識の差が大きいいため、正しい指導が必要である。